

中南

第二〇八号・二〇二三年

南甲俱樂部会報

新春号



vol.7 MY PASSION 私の情熱

中央大学で学んだことへの感謝 信頼される不動産会社を起業 社会のお役に立ちたい

青山公彦代表取締役からいたいた名刺の裏にはプロフィール、事業内容、加入団体、資格が記載されている。定年を前にして畠違いの会社を立ち上げただけでなく、取得した資格の多さに驚いた。どんな志を持つて新たな人生に挑んでいるのか、お話をうかがつた。



青山 公彦 株式会社 ノイエルング 代表取締役
(1988/昭和63年 文学部卒)

「One for All, All for One」お客様と当社はワンチームです。
お客様のさまざまなご希望を叶えることが当社の喜びです。
日本で一番信頼される不動産会社を目指してまいります」

射撃中心の学生時代

私は、よく人に「中央大学に足を向けて寝られません」と言っています。その理由の1つは射撃です。3、4人は推薦入学する学生がいたほどです。オリンピック選手も多く輩出し、今でも自衛隊体育学校にオリンピック候補選手が2人います。

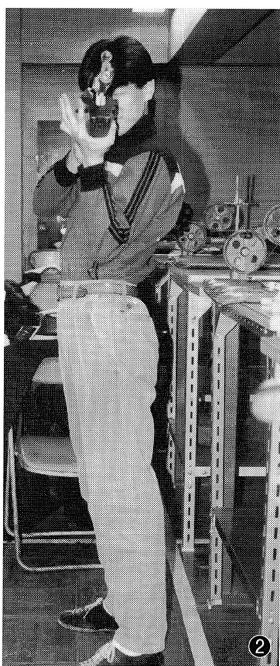
そんな強い部にいましたので、練習は厳しいし、試合も多かったです。関東大会は春期と秋期、これは大射撃部は全国で1位。3年と4年の時には、全日本学生スポーツ射撃選手権大会の団体で優勝しました。中大附属高校に射撃部がありますが、他校から年間

で彼らは軍用車で中大の射撃場に来たし、我々が防衛大の射撃場に行くこともありました。

そもそも中大が強かつた理由の1つとして、他大学と比較して大学からの年間部費が少なかつたことです。鉄砲の弾は自腹、標的も他大学では一発撃つて捨てていましたが、我々は中心を黒いマジックペンド塗つて紙を張つて使い回していましたが、そんな状況でしたから「絶対に負けたくない」という反骨精神が培われたこと

が大きかったです。それと部全體のレベルが高いので、一人ひとりのレベルも高くなりました。

学生の射撃はエアライフル(AR)とスマートボアライフル(SB)があつて、ARは空気銃で10m先の的の中心1mmを狙う競技です。片やSBは火薬を使って、的は50m先。両方とも手元、銃口の先、的の中心の3点が同心円になつた時に引き金を引くのですが、それでは遅い。同心円になつたな、と意識する前に指を動か



①大学4年、全日本学生選手権団体で優勝。前列右端が青山公彦氏 ②多摩キヤンバス射撃場にて ③息子さんの安井和貴氏が描いた安井啓雄教授。1931年生まれ、1995年逝去。後に中大附属杉並校の校長先生に就任 ④お嬢さまが編集した安井啓雄教授の作品『考える勇気を』



⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

㉟

われるEUの「GLOBE インターナショナル」会議に参加するようお誘いを受けたのです。1997年5月です。同年12月にはCOP3(京都会議)が行われ、その前段階として開催された会議でした。この時に国會議員の先生から、Action Agenda(行動指針)を書いたらどうだ、と勧められたのです。

会社の資料を参考に「発電とCO₂の発生量について」を英語と日本語でまとめました。発表

はしませんでしたが、参加者に配布していろいろディスカッショニングを行いました。私は、ドイツ語でしたら自信あつたのですが、英語ではたから理解してもらえたかな(笑)。でも、貴重な経験といい勉強になりました。

その後、勤務先を変わりました。たが、同じ空調設備関係で普通にサラリーマン生活を過ごしていました。

ところが昨今、前橋市は、私の母親もそうですが独り住まいが多く、空き家も増えて過疎化が進んでいます。

「何とかしないといけない。空き家対策で社会貢献をしたい」。こうした思いを強く持つようになりました。



⑤1997年5月EU
「GLOBE インターナショナル」会議風景 ⑥外
ニアとポーランドの議員と ⑦旧ソ連の宇宙
飛行士と

「ノイエルング」はドイツ語で「革新」
退職後、代表取締役の登記をして、埼玉県に宅地建物取引業免許の申請を行いました。社名は安井教授の影響もあってドイツ語で「ノイエルング(Neuerung)」。「革新」「変革」という意味です。不動産業界も変革が必要ではないかと考えてこの社名にしました。

かちで思い立つたらすぐに行動に移す性格です。早速、宅建の試験を受けて資格を取得。まだ会社勤めをしている時でしたが、不動産屋になろうと決意して、準備を進めていたのです。これが退社する5年前でした。しかし、このまま退職するまで会社にいたら情熱や気力が失せてしまうのではないか。皆から「あと2年会社にいればいいのに」と言われましたが、2022年5月、35年間のサラリーマン生活に終止符を打ち、57歳で退職しました。

※1 EU(当時)各国、米国および日本の国会議員の有志が地球環境問題を国際協力するために設立した議員連盟。

しかし、新参者である私が、40年も50年も不動産業を行っている先輩たちには勝てるわけありません。そこで、空き家の売買だけでなく、壊すのもお手伝いしようと考えて、解体工事施工管理技士の資格を取りました。ところが、古い住宅は建材などにアスベスト(石綿)を使っている場合が多く、住宅の解体は事前に石綿調査をしなければなりません。ですから石綿作業主任者の資格も取りました。困っているところの部分、つまり隙間事業です。資格があれば、解体工事屋さんに協力していただくなり、紹介することもできます。または、工事が適正なコストかのチェックも行えます。

空き家や戸建ての不動産売買は手間がかかつて儲けがないそうです。ですが、今まで生活できていたのも人々のおかげだと感謝を込めて、特に困っている人のために、普通の不動産屋がやりたがらない戸建てに特化した物件を手がけていこう。これが企業方針です。

アスベスト除去を専門としている南甲俱楽部の木村実牙男先輩

も、アスベストは健康被害が著しく隠れた时限爆弾と話されました。そうしたことに関すアドバイスもできる業者になりました。

もう1つ、事業内容として建物の省エネコンサルティングも行います。この分野は、ずっと空調設備関係の会社にいましたので知識はあります。例えば、熱伝導体のヒートパイプを使って地熱を利用した冷暖房があり、省エネにつながります。すでに北海道では多く使われています。

現在、5、6件の案件を抱えています。1人でやっていますから、いつも掛け持ちをすると1人、同じ志を持つ同年齢の方を誘っていますが、なかなかいませんね。とにかく営業しているより書類を作成している時間が長く、時間がもったいないです。

今後、人口減でますます空き家が増えるでしょう。ここにきて、アスベスト対策もそうですが、やつと政府が空き家対策をはじめると言っています。私にとって、タイミングです。あくまで、儲けよりも感謝の心です。やはり安

井先生は、私の心の中に生きていますから。

ラグビーの コーチ・レフリーになる夢

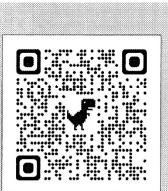
私には、空き家対策で前橋を活性化したいこと、ラグビーに對する夢もあります。実は、小学校3年の時から剣道をやっていて、中学校ではもう1級を持つていて先輩より上をいつていきました。そんなわけで、剣道はもういいかな、ラグビーをやりたいなと思つたのです。熱しやすく冷めやすい性格もあります(笑)。

高校に入学して、ラグビーをはじめようとしたら、ラグビー部が00%の力を注げません。もう1人、同じ志を持つ同年齢の方を誘っていますが、なかなかいませんね。とにかく営業しているより書類を作成している時間が長く、時間がもったいないです。

しかし、現役に復帰するには、もう60歳に近いのでできません。コーチかレフリーになろうと、指導者としての知識と技術を習得するスタートレフリーとスタートコ

ない。それならとラグビー部をつくりました。当初6人でしたが、2年目で20人ほど入部して、やつとラグビーチームができて活動で生きるようになりました。ところが、足を怪我して続けられなくなってしまった。そんな経緯があります。当社のホームページには未練があります。当社のホームページはラグビーグラウンドの写真がバーンと出て、ラグビー関係の会社のようです(笑)。それくらいラグビーが好きなのです。

もう1つ、ラジオ体操指導員の資格も取得しました。半日講習を受けければ指導員になります。結構おもしろいんですよ。子どもたちにラジオ体操の指導をやりたいです。このように、たくさん資格を持っていますが、更新がないへん(笑)。すべて根底には、中央大学で育んだ感謝の心から、社会のお役に立ちたいという思いがあつて挑戦しているのです。



株式会社
ノイエルング

<https://blueman.work/>

事業内容：

不動産の売買・仲介・コンサルティング／
建物解体工事／建設に関するコンサルティング／建物の省エネコンサルティング

資格：

宅地建物取引士／解体工事施工技士／
1級管工事施工管理技士／建築物石綿含有建材調査者（一戸建て等）／石綿作業主任者／日本ラグビー協会認定スタートレフリー／日本ラグビー協会認定スタートコーチ／ラジオ体操指導員



ラグビーで活躍していた高校時代